

# 後輩たちへのエール！ その63

2022年5月9日

Let's CHALLENGE!! Don't be afraid of making mistakes!

◇今回は、宗宮奈穂さん(関西外国語大学)からのメッセージです！

関高生のみなさん、こんにちは。2018年に関高校を卒業した、宗宮奈穂といいます。そして今年3月には関西外国語大学を卒業し、現在は新社会人として新たな場所で頑張っているところです。夢や目標の実現へ向かって一生懸命頑張っている後輩の皆さんの力に少しでもなれるよう、今回は私の学生生活について紹介したいと思います。

## 1 高校生活

私が関西外国語大学を目指すきっかけ、英語に興味を持ったきっかけは高校時代にあります。それは1年生の時に参加させていただいたイギリス研修です。先生や両親に進められたことがきっかけで、この研修に応募し、参加することになりました。イギリスで見たもの、感じたもののすべてが新鮮でした。イギリス人の高校生と英語でコミュニケーションが取れたこと、初めて外国人の友達ができたと感動と喜びを感じました。この経験で自分の世界が広がり、英語をツールとしてもっといろいろなことを知りたいと思うようになりました。そして、英語で授業を受けられる、留学制度の充実している関西外国語大学に進学することを決めました。

## 2 大学生活

関西外国語大学は国内留学ができると言われているほど、海外からの留学生や授業が充実しています。そして私が大きな目標としていた留学の制度もとてもたくさんありました。私はリベラルアーツ留学という、海外の大学で現地学生として専門的な分野を学ぶことのできる留学を選択しました。大学の奨学金をもらって留学に行くことを目標に、いくつもの試験や面接を乗り越えました。同じ目標を持つ仲間に出会い、お互いに教え合い、励まし合ったからこそできたことだと思っています。

そして、2年生の冬からアメリカのワシントン州立大学へ交換留学生としてリベラルアーツ留学することができました。ここではHospitality, European history, Psychology, Asian Pacific studiesという4教科を選択しました。私はホスピタリティ業界に興味があ





り、就職も考えていた業界でした。ホテルやディズニー、スターバックスなどの、ホスピタリティを大切にしている企業について詳しく調べて、マーケティング戦略などの経営的な視点も持ちながら研究しました。現地の学生とともに研究やディスカッション、プレゼンテーションを行うことはとても難しく苦労しましたが、優しい仲間や教授に助けられました。また、歴史の授業にも力を注ぎました。もともと社会が得意ではありませんでしたが、アメリカ人

的な目線でこれまで学んできたヨーロッパの歴史を再び学ぶことができ、面白かったです。毎日2~3時間の予習・復習、毎授業後に教授のオフィスへ立ち寄って質問をするというのが日課でした。これだけを聞くととても大変なように思えますが、やり切った時の達成感や自信はとても大きなものでした。もちろん、授業以外の日常生活も楽しみました。頻繁に開催される大学のイベントに参加したり、バスケットボールをしている学生に混ぜてもらったり、様々なことを経験することができました。

帰国後は3年生ということもあり、自分の将来についてよく考えるようになりました。もともと就職したいと考えていたホスピタリティ業界（エアラインやホテル）の新卒採用は、コロナウイルスの影響でほとんどない状態でした。このような状況のなかでも続けていたことは教職課程の授業と講座を受けることでした。子どもの人格形成や将来の進路選択に大きく関わることのできる教員という仕事にとっても魅力を感じていました。自分が学校で教えてもらった英語の楽しさを伝えたい、大好きな英語を仕事にしたいという思いから3年生の冬に進路変更をしました。周りの人と比べるとスタートが遅いと思います。私自身も時間がないと焦っていました。しかし、「教員採用試験に合格する！」という明確な目標ができたおかげで計画的な勉強ができたと思います。朝は教職教養の暗記、午後からは模擬授業の練習、夜は小論文演習・面接練習などといったサイクルで数か月間集中して勉強しました。そして無事に合格することができ、進路が決定しました。勉強ばかりじゃん…と思うかもしれませんが、全然そんなことはありません。友人とおしゃれなカフェに行ったり、憧れのリッツカールトン大阪でのアルバイトをしたり、とにかく大都会大阪での生活を楽しみました。振り返ってみると、高校3年間も楽しかったですが、大学生活の4年間も本当に楽しかったです。新しい場所

で新しい仲間と、好きなことを学ぶ生活はとても楽しいです。希望を持ちながら高校生の皆さんは自分の進路に向かって頑張してほしいと思います。

